

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終られたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書をご覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ウィーン経済経営大学
留学先での所属学部・研究科:	
留学先での在籍身分:	学部生
留学期間:	2024年9月～2025年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年生
帰国日:	2025/6/25
本報告書記入日:	2025/7/26

1. 留学先大学について			
1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	4月 15日	
	参加必須のオリエンテーション日	9月 25, 26日	
	学期:	①	10月 1日～ 1月 31日
		②	3月 1日～ 6月 29日
		③	月 日～ 月 日
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	授業登録が早い者勝ちなので理想の講義を受講するには運と実力が必要。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	特になし	
	勉学面でのサポート:	特になし	
	精神面でのサポート:	特になし	
	住居・生活面でのサポート:	在留許可申請の準備での書類チェックがあった。	
1-4	課外活動のサポート:	特になし	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ	

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	大学からおすすめされたOeadという寮に住んでいたがしっかり探せばもっと安い寮もある。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	WiFi使用料は家賃に含まれていた。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	早くて安定したWiFiが使える。
3-2	医療について	
	留学期間に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院は利用していない。ウィーンの水道水は飲めるが旅行先の水道水には注意が必要。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	在留許可を申請するためにもersteという現地の銀行の口座を開設した。学生用口座を開設し、WISEを利用して日本から送金した。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	寺浦さよ子記念奨学金
	支給額(円/月):	100,000円
	その他(渡航費等の支給):	450,000円(渡航準備費)
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	150,000円
	住居費:	(月額) 100,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 1,000,000円
	食費:	(月額) 30,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 300,000円
	保険料:	11,000円/月 × 10ヵ月 = 110,000円(現地の保険) + 80,000円(海外旅行保険) = 190,000円
	その他:	660,000円
	合計(留学期間全体の費用):	2,300,000円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	大学公認の学生団体がクラブイベントや飲み会を積極的に開催している。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	日本人コミュニティを通じて日本人も現地人も幅広く交流を持っていた。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	夜は一人で歩いて帰っても怖い思いをしたことは一度もなかった。しかし地域差はあると思う。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	KIMERAプログラムへの参加が決まっていたため、2025年の4月から自己分析や夏インターン対策を始めた。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	ちょっとウィーンに行きたいんだけど https://goesterreich.com
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	醤油などの調味料は現地でもそろろが高いため荷物に余裕があれば持っていくべき。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	旅行をしたこと、様々な人と関わりを持てたことで自身の価値観が広がった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	旅行先で水道水を飲み、食中毒になって三日ほど体調を崩してしまったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	月1の報告書を通してのやり取りが癒しになっていました。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。就活だけは大変になるが海外生活で得た経験の価値は何物にも代えられないから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	3
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
	・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>私が留学を決意した背景には、日本社会に深く立ち込める一種の閉塞感がありました。少子高齢化や経済の停滞、そして未来への漠然とした不安。SNSを開けば「日本はもう終わりだ」といった冷笑的な論調が溢れ、私自身もそうした言説を内面化していたのです。「このまま日本にいても未来はないのではないか」「海外でなら、自分に何かできるのではないか」。そんな焦燥と期待が入り混じった思いを胸に、私はオーストリア・ウィーンに旅立ちました。</p> <p>ウィーンで驚いたのは、日本文化への高い評価でした。街の書店には日本の漫画が並び、私の「日本らしさ」を称える声をよく耳にしました。一方で、歴史と芸術の街ウィーンでは、若者たちが「この街はつまらない」と諦めムードを漂わせていたのが印象的でした。新しい文化を創造しようとするエネルギーが、むしろ日本の方が溢れているのではないかと気づかされました。</p> <p>また留学生活は決して順調ではありませんでした。最初の半年は「現地文化に完全に溶け込むべき」という思い込みから自分を追い込み、孤独に苦しみました。転機となったのは日本人コミュニティへの参加です。多様な背景を持つ人々との交流を通じて、「留学の正解」から解放され、自分の選択に自信を持てるようになりました。</p> <p>この経験から学んだのは、環境のせいにはせず、どんな状況も自分の成長に変える姿勢の大切さです。今では日本社会の課題も「ではどうするか」という前向きな視点で考えられるようになりました。ウィーンでの日々は、日本の価値を再発見し、主体的に生きる力を養った、かけがえのない時間となりました。</p> <p>後輩の皆さんには、ぜひ「正解」を探すのではなく、「自分は何がしたいのか」を大切にしてほしいです。英語力に自信がなくても、完璧な準備がなくても、留学は人間としての幅を広げてくれます。そして、世界に出たからこそ、改めて日本の良さや可能性に気づける瞬間がきっとあるはず。自分らしい挑戦を、心から応援しています。</p>		

9. 留学経験の共有について		
9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	授業で の使用 言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価 についてアドバイスも含めて教え てください
1	Business Information Systems II	Dr. Everist Limaj	6h×5週	6	英語	30人ほ ど	5% :口頭試験 50% :筆記試験 45% :プロジェクトワーク
2	Entrepreneurship Camp: Learn How to Start Your Own Business!	Lisa Kuttner, MA	5h×6週	6	英語	30人ほ ど	20% : クラス貢献 40% : 最終ピッチ 40% : 発表資料
3	Customer Journey Management	Dr. Olga Bergmeier	3h×8週	6	英語	30人ほ ど	40% : 期末テスト 60% : グループパフォーマンス ● プレゼンテーション
4	Generative AI Applications in Marketing	Sumon Chaudhuri, PhD	3h×7週	6	英語	30人ほ ど	30% : レポート作成課題 35% : グループ課題 35% : データ分析課題
5	E&I Zone: AI Bootcamp for Entrepreneurs	Assoz.Prof PD Dr. Peter Keinz, Dipl.- Wirt.-Ing.(FH) Thomas Plank, MA, Mag. Daniel Cronin, Andreas Lederer, MBA	5h×4週	6	英語	30人ほ ど	40% : 授業貢献度 40% : 最終ピッチ 20% : 感想レポート
6	Communicative Competence in Business Contexts	Dr. Barbara Schmidt- Unterberger, Univ.Doiz. Dr. Susanne Kopf	3h×9週	6	英語	30人ほ ど	35% : テスト 30% : プレゼンテーション 35% : 課題
7	SIB- Course5- IB Business Project: Sustainable Internationalization Strategies A project with Siemens Mobility	Laurenz Elias Tinhof, MSc.	4h×5週	6	英語	30人ほ ど	20% : クラス参加 20% : 中間プレゼンテーショ ン 30% : 最終プレゼンテーショ ン 20% : 多肢選択テスト
8	SIB- Course3- Designing Your Career in International Business	Dipl.-Komm.-Wirt, Bettina Wertheim	4h×6週	6	英語	30人ほ ど	50% : クラス内貢献度 40% : 課題 10% : ペア評価

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズは30人ほどの小規模なものが多い。成績評価はグループワークを通してなされるものが多く、慣れが必要。グループ内での貢献度などを教授が細かく見てくる講義はなかったが、ペア評価の制度があるためグループ内でもある程度貢献しておかないと成績は伸びない。現地の学生は基本的にとても真面目で、最高評価を狙う生徒が多かった。ただし授業の難易度や雰囲気によるので自身の目的に合った講義を選んでほしい。